

# 個人議員研修復命書

## ①議員行政視察

鎌倉和雄議員・小笠原照美議員・佐々木政義  
議員・竹中隆浩議員・佐々木誠議員・前田孝  
一議員・水戸部正博議員

※資料については事務局に保管しておりますので、閲覧したい  
方はご連絡ください。

豊富町議会事務局 0162-82-1001

# 出張復命書

令和2年10月26日

豊富町議会議長 様

氏名 鎌倉 和雄

このたび、下記により出張したので、その概要を報告します。

## 記

用務	総務産業常任委員会行政視察
用務先	厚岸町 釧路管内水産種苗生産センター 別海町 つなぎ牛舎対応自走型搾乳ロボット、別海町酪農研修牧場
期間	令和2年10月21日—23日
<b>用務の概要（会議等の概要）</b>  厚岸町～水産種苗生産センターでは、初期稚ウニ養殖を1市4町で行っており、経費は受益漁組が応分負担しているとのこと、当町においても養殖事業を魚種などの選定を含め、漁業者の端境期就労の場として、養殖栽培事業を行政が支援すべきと思われました。  別海町～タイストール用搾乳ロボット導入事業は、中型酪農牛舎に設置する中で、酪農家の労働力確保に有効と思われ、行政での支援が必要と感じてきました。また、酪農研修牧場の視察では、約350頭の搾乳牛を飼育すると共に、就農希望者に牧場での研修・農家実習・農場リース事業等を通して、新規就農独立への道を開くものとして、当町でも検討すべきと思われました。2泊3日での強行視察でしたが、意義のある行政視察で、町長・職員同行の視察であったと思います。	

# 出張復命書

令和2年10月26日

豊富町議会議長 様

氏名 小笠原 照美

このたび、下記により出張したので、その概要を報告します。

## 記

用務	総務産業常任委員会行政視察
用務先	厚岸町 釧路管内水産種苗生産センター 別海町 つなぎ牛舎対応自走型搾乳ロボット、別海町酪農研修牧場
期間	令和2年10月21日—23日
<b>用務の概要（会議等の概要）</b>  10月22日 厚岸町釧路管内水産種苗生産センター 構成は釧路管内7漁業協同組合と1市4町で組織する運営委員会で運営・管理をしている。経費負担は種苗の配分割合で負担している。ウニの資源回復策としてその成果は大であると感じられた。水産資源確保策を当町のみならず広域で検討する時期にあると考えます。（鯨・鮭・ホッキガイ等の資源回復策）  別海町つなぎ牛舎対応自走型搾乳ロボット（ロボマックス） タイストールによる乳牛の管理方法の利点とフリーストール用搾乳ロボットでは困難な搾乳時間の管理が出来る。また、乳牛の飼育管理や健康状態の管理も効率的で、つなぎ牛舎のメリットが活かされる。牛の事故も少なく発情管理も徹底され、乳牛の稼働効率を心配することなく、経営の向上も図られると思われる。 但し、既存牛舎で対応可能な施設が限られてくる。（対等式牛舎は無理）今後の規模拡大施設を考える場合の選択肢の1つである。重労働軽減策となる。  別海町 酪農研修牧場 視察で一番感じたことは、研修生の待遇で、研修生は(有)別海町研修牧場の社員として身分が保証され、社会保険、住宅、子育て支援等福利厚生が充実しているところ。	

現状、実習生受け入れ農家がそこまで負担する事が出来ないのが現実。しかし、当町では、ここ数年で別海町と同等の新規就農者が就農していることは、町、JA、関係機関の推進の成果と感じた。また新規就農者に対するJAの支援（助成）も再考する事も必要ではないかと思えます。

# 出張復命書

令和2年10月26日

豊富町議会議長 様

氏名 佐々木 政義

このたび、下記により出張したので、その概要を報告します。

## 記

用務	総務産業常任委員会行政視察
用務先	厚岸町 釧路管内水産種苗生産センター 別海町 つなぎ牛舎対応自走型搾乳ロボット、別海町酪農研修牧場
期間	令和2年10月21日—23日
<b>用務の概要（会議等の概要）</b>	
10月21日	午前9時 豊富からバス移動、午後6時30分 厚岸町ホテル到着
10月22日	午前9時 厚岸町水産種苗生産センターへ移動。施設の目的・運営・管理・種苗生産工程等の説明を聞く。その後別海町へ移動。 正午 別海町役場にて河田町長と合流。つなぎ牛舎対応自走型搾乳ロボットを導入している別海町瀬下牧場へ移動。導入同期、導入効果、ロボマックスの仕様、動作の説明、動作状況を見せていただいた。その後、別海町酪農研修牧場へ移動し、新規就農から独立まで就農後のサポート体制など説明を聞き、その日の視察研修を終了する。斜里町へ移動し宿泊。
10月23日	午後3時30分帰町

# 出張復命書

令和2年10月26日

豊富町議会議長 様

氏名 竹中 隆浩

このたび、下記により出張したので、その概要を報告します。

## 記

用務	総務産業常任委員会行政視察
用務先	厚岸町 釧路管内水産種苗生産センター 別海町 つなぎ牛舎対応自走型搾乳ロボット、別海町酪農研修牧場
期間	令和2年10月21日—23日
<b>用務の概要（会議等の概要）</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・釧路管内水産種苗生産センター視察 1市4町7漁業協同組合で構成されており、現在は白糠町と白糠漁協が休んでいて1市3町6漁協で運営しています。通常は8月～9月に採卵採精するが餌のコンブ入手時期にあわせて3月～4月に媒精を行っていて、できるだけ大きく育てて11月に出荷すると説明がありました。ウニ種苗を供給することによって漁業の安定化を図っていると思います。</li><li>・別海町 瀬下牧場 つなぎ牛舎用搾乳ロボット視察 平成29年に道東あさひ農協と農林水産省に同行してカナダへ視察に行き酪農事業の予算措置で輸入元である株式会社ピュアラインのつなぎ牛舎用搾乳ロボット（ロボマックス）を導入し、モデル事業で実証試験を行っていると説明がありました。身体への負担軽減や作業時間の削減効果があり農業も働き方改革が必要だと思いました。</li><li>・(有)別海町酪農研修牧場視察 農家戸数の減少や担い手の育成と確保のため平成8年～10年度で建設して、生産された牛乳は(株)別海乳業公社で学校給食や飲用牛乳や加工品を生産しています。 酪農研修牧場は別海町及び町内3農協で運営されており年間3～5組の新規就農をされていると説明がありました。農家戸数の減少は共通の課題であり、町と農協と地域、関係機関と連携し、サポートしていく必要があり、研修生が全国各地から応募があるのは魅力的でした。</li></ul>	

# 出張復命書

令和2年11月 2日

豊富町議会議長 様

氏名 佐々木 誠

このたび、下記により出張したので、その概要を報告します。

## 記

用務	総務産業常任委員会行政視察
用務先	厚岸町 釧路管内水産種苗生産センター 別海町 つなぎ牛舎対応自走型搾乳ロボット、別海町酪農研修牧場
期間	令和2年10月21日—23日
<b>用務の概要（会議等の概要）</b>	
<p>① 厚岸町 釧路管内水産種苗生産センター 主にウニの種苗を生産し、管内の漁協に出荷している。幼生から5mm程度まで飼育し出荷し、この種ウニを沿岸に放流することにより、ウニ資源の安定的な生産を可能にしている。</p> <p>② 別海町 つなぎ牛舎対応自走型搾乳ロボット 従来の固定式搾乳ロボットと違い、既存の牛舎への設置可能な搾乳ロボットで搾乳牛のお尻側で一頭ずつ機械が移動し、機械が牛のお尻をつかみ機械に引き込み固定し、センサーが乳頭を検知しミルクカーを装着する。 搾乳作業は酪農家の特に奥様の作業であることが多く、重労働の為、腰を悪くされている方も多く、農家の負担軽減のためにも今後導入の検討が必要かと思いました。</p> <p>③ 別海町 酪農研修牧場 別海町は生乳生産量49万トンで本町の約7.3倍の乳量で日本一の生産量を誇る町であります。しかし近年リタイヤする農家が増え、農家戸数が減少しているため、将来の酪農家確保のため研修牧場を設立した。研修牛舎フリーストール型1棟、つなぎ牛舎1棟と研修生研修館、研修生用住宅6棟、アパート等充実した施設でありました。 わが町でも年々農家戸数が減少する中、生産量を維持、増加するためには新規就農者が必要であり、これらの人材を育成する施設が必要になってくると思いました。 今後、検討するべきと考えます。</p>	

# 出張復命書

令和2年11月 2日

豊富町議会議長 様

氏名 前田 孝一

このたび、下記により出張したので、その概要を報告します。

## 記

用務	総務産業常任委員会行政視察
用務先	厚岸町 釧路管内水産種苗生産センター 別海町 つなぎ牛舎対応自走型搾乳ロボット、別海町酪農研修牧場
期間	令和2年10月21日—23日
<b>用務の概要（会議等の概要）</b> 厚岸町視察について 釧路管内水産種苗生産センター 生産工程、運営、管理等の説明 ウニ種苗の安定供給により、ウニ漁業の経営安定化「資源管理型漁業」を目的とする。  別海町視察について つなぎ牛舎用搾乳ロボット 家族経営での多頭飼育が大変なため搾乳ロボットを導入して、作業時間の大幅に減少させ、酪農家の「働き方改革」に取り組む  別海町酪農研修牧場 酪農経営を目指す方や農協が中心となり地域産業の担い手を育成し、支援制度に取り組む。 施設からは毎年3～5組を就農させています。	

# 出張復命書

令和2年11月 2日

豊富町議会議長 様

氏名 水戸部 正博

このたび、下記により出張したので、その概要を報告します。

## 記

用務	総務産業常任委員会行政視察
用務先	厚岸町 釧路管内水産種苗生産センター 別海町 つなぎ牛舎対応自走型搾乳ロボット、別海町酪農研修牧場
期間	令和2年10月21日—23日
<b>用務の概要（会議等の概要）</b> 厚岸町 水産種苗生産センター 育てる水産業とウニの増産  別海町 搾乳ロボット 平均的酪農家にも導入可能なロボット  研修牧場 新規就農の方には必要な施設	